

第3節

業務の実績

第1項

概況

2008（平成20）年からのリーマンショック対応で多額の融資を行った結果、2009～2018年度の融資承諾金額合計は、20兆4,000億円に上った。

年度別の推移を見ると、リーマンショック対応の緊急融資を行った2009年度が2兆6,000億円を超える承諾規模となり、また新JBICが設立された初年度の2012年度は、先進国向けの投資金融業務が拡

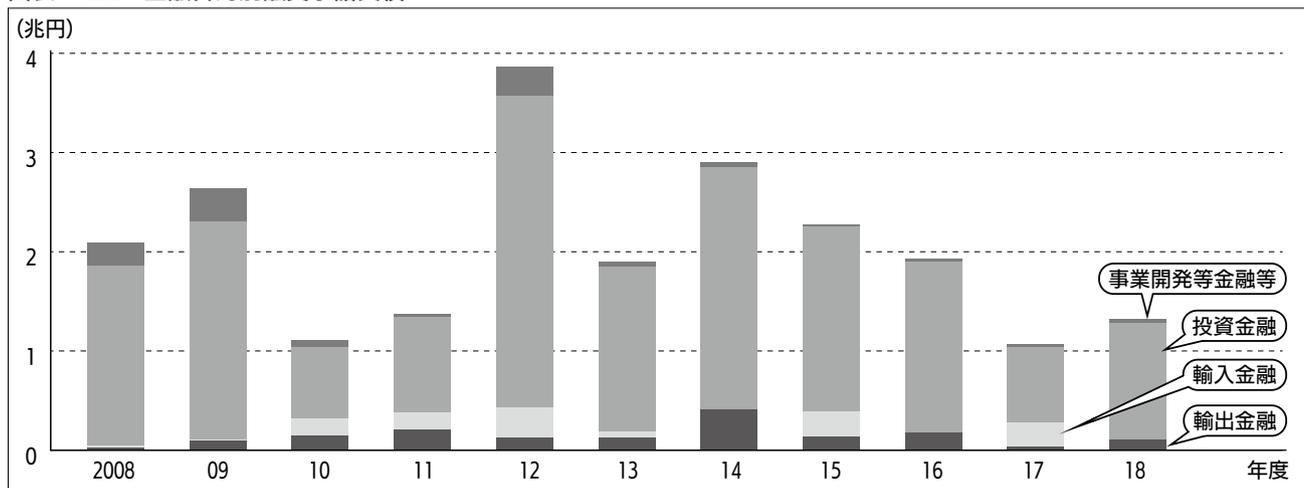
大され、大型のM&A資金融資が相次いだこともあり、輸銀時代を通じて史上最大となる3兆8,634億円の融資承諾を達成した。

融資の中で大宗を占めたのは投資金融である。これはM&A融資、大型の資源融資、インフラ投資向け融資があったことによる。

2009～2018年度に顕著な増加を示したのは出資業務である。輸銀時代から通算しても出資は2007年までの累計で4件、承諾額合計37億円に過ぎなかったが、2008～2018年度の合計で51件4,769億円の出資承諾となった。

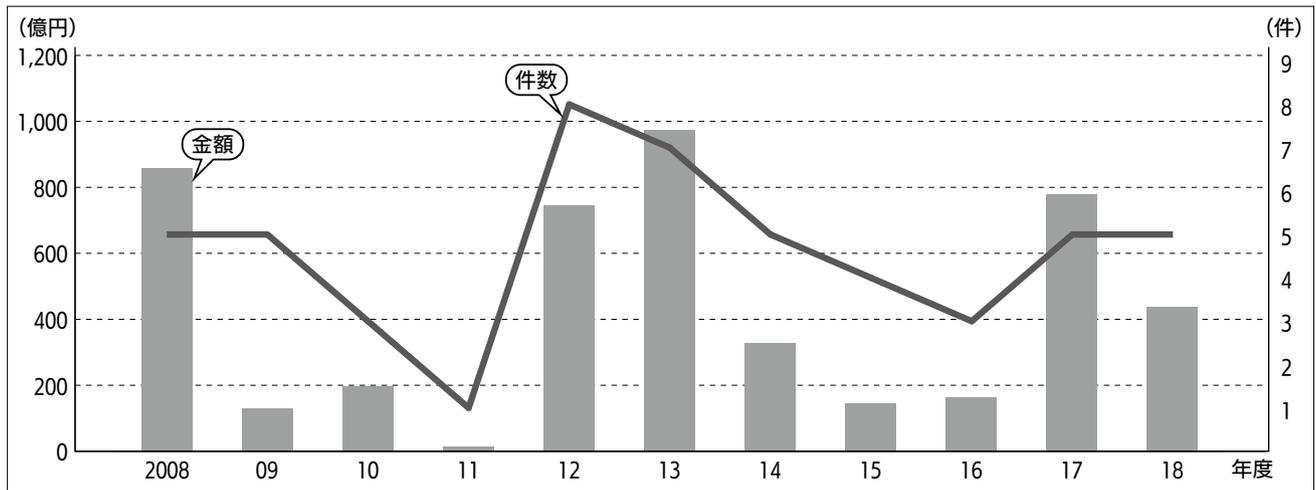
また、この間、出資業務の取り組み分野や質も大きく変化した。たとえば、デジタル技術を活用した

図表 2-36 金融目的別融資承諾実績



(出典) 本行作成

図表 2-37 出資承諾実績



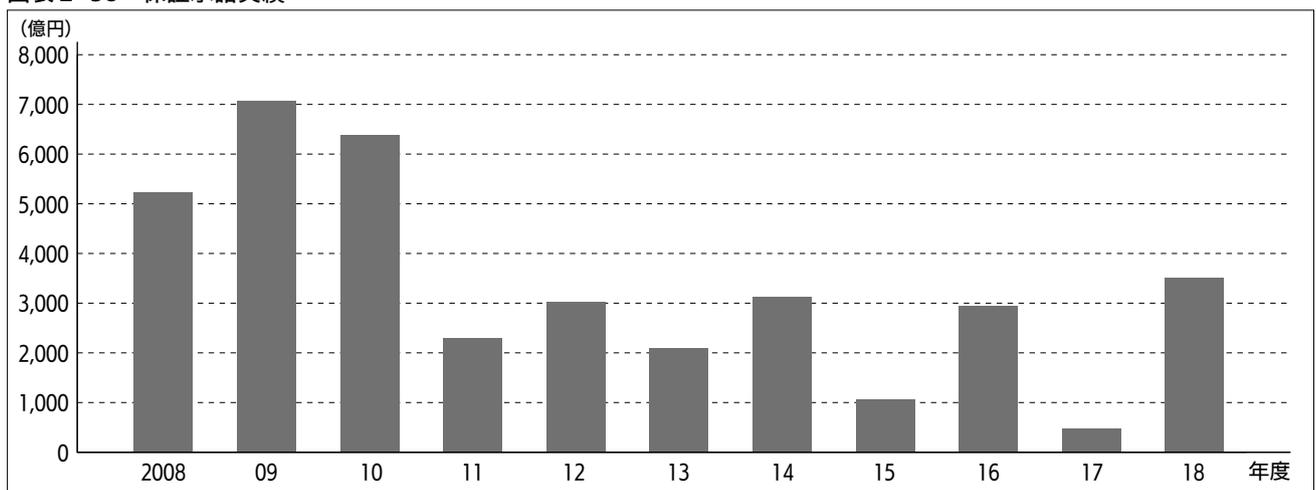
(出典) 本行作成

グローバルな広告事業強化の支援といった新たな分野・領域に取り組むとともに、自らファンドを運営し投資決定するジェネラルパートナーとして、2017年6月に設立したJBIC IG Partnersを通じ、2018年度末までに2件の投資ファンドRussia-Japan Investment Fund (RJIF)、JB Nordic Fund I SCSp (JB Nordic Fund) を設立、日本企業の海外投資や事業連携の機会創出を図ってきている。

保証業務については、2009～2018年度で合計3兆1,986億円の承諾となった。とくに2009～2010年度にインドネシア、メキシコ、コロンビア、フィリピンへのサムライ債の保証を承諾したこともあ

り、2009年度は7,080億円と、輸銀時代から通算でも過去最大の承諾となった。なお、この中には、航空機輸入のための民間金融機関融資に対する保証や、事業開発等金融及び投資金融における協調融資銀行への保証なども含まれている。

図表 2-38 保証承諾実績



(出典) 本行作成